

# 橋ときわっ子

学校だより第22号  
令和7年3月24日  
武雄市立橋小学校  
校長 坂井 文明



— やればできる みかけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて —

学校教育目標 「生きる力を身に付け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」

☆学力向上 ☆官民一体型学校づくりの推進 ☆ICT利活用教育の推進 ☆コミュニティ・スクールの導入促進

## 学校運営協議会・令和6年度を振り返って

2月28日(金)に、第3回学校運営協議会がありました。給食参観及び会食をした後、コミュニティ・スクールの取り組みや学校評価についての報告と協議を行いました。

「学校の友達と先生との和」「家庭との和」「地域との和」の三つの和を大切にしながら、協力いただきながら、児童信条「やればできる 磨けば光る 一歩でも前進 続けて 続けて」の精神で、やさしい子・かしい子・たくましい子を育ててきたこと、落ち着いた規則正しい生活が送れるように「あいさつ」「返事」あたりまえのことがあたりまえにできる凡事徹底、名前札、体育館への入退場、トイレのスリッパ・靴箱などをそろえていること、志を高める教育と教育の環境整備、情操教育、人や地域を思いやる力を育てていることなどについて報告しました。

令和6年度学校経営を大きく振り返ると、主に下記の成果がありました。詳細は、学校評価をご覧くださいればと思います。アンケートのご協力とご支援誠にありがとうございました。次年度の計画に参考にさせていただきます。

### (1) 確かな学力を育む教育活動の推進

- 「ICTの効果的な活用ができています」と回答した職員は、100%であり、校内研の算数の授業を中心に学びのDX化を図ることができた。学校全体の単元別テスト到達度平均は、年間をとおして89%と十分達成できている。

### (2) 豊かな心を育む教育活動の推進

- 保護者の100%が「学校は地域に根ざした特色ある教育を行っている」「学校は一人一人の子供を大事にしている」と回答しており、強力な「三つの和」により自己肯定感が高まり、年間をとおしてQUテストの満足群の全校平均も63%と高い。

### (3) 家庭・地域との連携強化

- 育友会や地域、関係機関及び部会組織と協議を進め、花まるタイムでは、毎回、10名から20名の支援をいただきながら、予定している行事や教育活動を100%行うことができた。運動会や相撲大会、ときわ祭りも地域や育友会と改善を図っている。

## 養護教諭 久保 美有 先生 産休へ

養護教諭の久保 美有先生が、3月10日から、赤ちゃんを産むために産休に入りました。代わりに養護助教諭の宮本 勝子先生にお世話になっています。



## 第78回橋小学校 卒業証書授与式

3月7日(金)の1校時にあすなろの卒業式がありました。そして、3月14日(金)は、第78回卒業証書授与式でした。卒業式のねらいに「在校生は、厳粛な式での規律を知り、卒業生を祝福すると共に本校の伝統を受け継ぐ意識を高めさせる。」とあります。来賓の皆様、保護者の皆様、職員そして在校生も参加しての卒業式でした。みんなで30名の卒業生を祝福しました。橋小学校は、明治8年以降、150年目を迎え、令和7年度は、151年目を迎えます。長い歴史と伝統を味わいながら、ふるさと橋町の人のぬくもりや自然を財産として、橋町への感謝の心を忘れることなく、自分の夢を実現し、また、夢を与え、ふるさと橋愛を忘れずに大きく成長してほしいと願っています。



## 橋小「チーム担任制」説明会

令和7年度からの佐賀県教育委員会の取り組みに「教科担任制の強化」と「チーム担任制の導入」があります。橋小学校も県と市の指定を受け、令和7年度より「チーム担任制」に取り組むことになりました。橋小学校では、新規採用が配置される低・中・高学年のいずれかの学年グループを3人でローテーションを組みながら実施することになりますので、3月19日(水)に全保護者対象に説明会を開催しましたところ多数ご参加いただき誠にありがとうございました。令和7年度の人事配置によりしますので、詳細が決定しましたら、また、学校だより等でお知らせいたします。